

# きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成21年1月8日(月)山根

## 「新年明けまして おめでとうございます」

新年明けましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお祈りします。

いよいよ3学期が始まります。  
自分の「夢」を実現する学期です。  
頑張りましょうね。みんな！  
ところで、今年の冬休みは楽しく過ごすことができましたか。

クリスマスやお正月と楽しいことが続きましたね。また、プレゼントやお年玉をたくさん頂いたと思います。

新年を迎え、「初春」「初日の出」「初登山」「初夢」「書き初め」「初詣」等、いろんな「初」がありますが、みなさんは、どの「初」を行いましたか。

私は、1月2日(金)に地元の「荒神社」に出かけ、「坂越中学校の生徒のみなさんが、今年一年、自分のことがうまく叶えられる年になりますように！」



赤穂市指定有形文化財  
木生谷三宝荒神社義士画像図繪馬

健康な年でありますように！」とお祈りしてきました。

これで今年「最高の年になりますね。」  
(ハハハハッ)

ところで、お年玉の使い方ですが、以前こんな生徒がいましました。

「お年玉をたくさん貰ったけれど、何に使うのかな」って尋ねると、「貯めておいて、受験料にまわします。自分のことだし」と言っているのを思い出しました。

みなさんは、何に使いますか。

「坂中生 頑張り！」

### < 書き初め(1月2日) >

1月2日には、新年になって初めて、筆で書をしたためる「書き初め」を行います。

昔から、1月2日には「事始め」といって、農家では、田畑や山の神を祀(まつ)って仕事の準備を始め、商家は初荷を出荷していました。

書き初めも、このしきたりにならったものだそうです。パソコンもワープロもない時代では、書は大切なたしなみの一つだったそうです。書き初めは、書の上達を祈念する重要な儀式だったのです。貴族社会では、平安時代から行われ、庶民に広く普及したのは、江戸時代に入ってからだそうです。

正式な書き初めの作法は、まず部屋に学問の神様である菅原道真公の掛け軸をかけ、おろしたての筆と墨を準備します。そして、若水(新年初めて汲んだ水)で墨をすり、その年の恵方を向いて書をたしなめます。

書くのは、「寿」「福」といった、めでたい字や「長生殿裏春秋富不老門前月日遅」といった漢詩が多かったそうです。

江戸時代寺子屋で、先生がお手本を与えて生徒に書かせたそうです。書き初めで、したためた書は、15日に行われる「とんど焼き」で燃やします。燃やした紙が高く舞い上がれば舞い上がるほど書が上達すると言われていました。2009年の恵方は東北東です。